

## 衛生管理の徹底

県外において、腸管出血性大腸菌 O157 の食中毒が発生し、3 歳女兒が死亡するという痛ましいことが起こった。学校においても腸管出血性大腸菌 O157 やノロウイルス、サルモネラ属菌をはじめとする食中毒の防止に努めたい。

学校でできることは、

- ① 生徒・職員が健康管理に努めること。
- ② トイレ使用后・食事前の手洗いの励行。
- ③ 食品加工、調理実習における食品の取扱等の衛生面の徹底。
- ④ 販売弁当業者への協力依頼等が必要である。

※学園祭における、衛生面の徹底にも努めて欲しい

**O157で3歳女兒死亡**  
前橋の総菜店 加熱食品食べ感染  
埼玉、群馬両県の系列総菜店（女児3歳）と同市の60代女性  
薬店で購入したポテトサラダが感染し、女児が9月上旬  
夕飯を食べた人が腸管出血性大腸菌O157に感染。一連の問題で死者は初  
血性大腸菌O157に感染。市によると、女児が  
した集団食中毒で、前橋市めぐみ市によると、女児が  
は13日、同市のめぐみ市に感染。市によると、女児が  
六供店で8月に販売されたポテトサラダの4種類で、い  
な総菜を食べた東京都内のめぐみ市の4種類で、い



ずれも加熱食だった。  
これまでの調査で、店  
の従業員や調理場の設備から  
O157は検出されていな  
い。

## 北農楯

連休も利用しながら、3日かけて校長室・応接室の資料を整理した。琉球政府時代の古い資料や、40年前の職員会議資料など、様々な資料が出てきた。

また、応接室には様々な記念の楯や、写真等もある。その中で前々から気になっていたのが園原咲也先生の写真や記録集だ。何でも長野県の農林高校のご出身で、戦後の沖縄農業、農業教育（特に林業）の発展に多大な尽力をされ、沖縄近代林業の父とされている方ようだ。

さらに資料を整理して行く中で、園原先生と応接室にある北農楯との関係が分かった。園原先生は長野県 木曾山林高等学校（現在は長野県木曾青峰高等学校で森林環境科がある）出身である。その母校の木曾山林高等学校が大先輩の園原先生が沖縄のために一生涯をかけたことを偲んで、沖縄の修学旅行を計画し（平成7年）、その際のプレゼントとして北農楯が寄贈されたとのことだ。当時の校長は安村校長で、園原先生の直弟子の照屋照和元校長も対応したと記録があった。新たな発見があった3日間だった。



